

2020 年度実施概要

学校名

静岡県沼津市立静浦小中一貫学校

採択活動名

「静浦探検隊」
静浦の海と共に生きる

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 静浦探検隊～ひものはかせになろう～	3	総合
2. 沼津のじまん、再発見	4	総合
3. 静浦の漁業を未来へ	5	総合
4. 地域防災を考えよう ～もしもに備えて、今わたしたちができることは～	7	総合
5. 卒業レポートを書こう	9	総合

取り組みの概要

コロナの影響で、全ての学年において当初計画していた活動が、縮小または中止となりました。

■3年生「静浦探検隊～ひものはかせになろう～」

・静浦漁港を見学し、漁師の方の話を聞いたり、鯛の養殖を見たりして「静浦のじまん」は、産直所に売っているひらきではないかと予想する。そして、その予想が正しいかどうかを調べるために、地域にある複数のひらき工場を見学し、静浦の自慢はあじのひものであることを知った。そして、静浦のひものは〇〇であると調べた内容を根拠にして報告文に書き、プレゼンテーションで発表した。

■4年生「沼津のじまん、再発見」

3年生で静浦の自慢はあじのひものであることを知った子供たちは、静浦漁港は、漁港なのに魚をどうして売っていないのかという疑問をもった。そこで漁師の方の話から、静浦で取れる魚の多くは、沼津港へ持っていつている事を知ったが、なぜ静浦の魚を沼津港へ持っていきののだろうかと思い、解決するために、沼津漁港の様子を観察する。そこで、沼津市場では、多くの魚が集まってそこでせりが行われていることや、市場だけではなく飲食店や深海水族館があることで、多くの観光客が集まる場所となっていることを学び、集めた情報を根拠に沼津港は〇〇だとまとめる。

■5年生「静浦の漁業を未来へ」

社会で水産業の学習した後、地元静浦の漁業について知りたいことを整理し、解決するために漁師さんを招いて、漁師の現状と課題や、自分達が知りたい内容について話を聞いた。そして、集めた情報を根拠に「静浦漁港は、〇〇な漁港だ」と、パワーポイントを使ってプレゼンテーションを作成した。また、静浦漁港が最近始めたワカメ栽培についての話を聞き、一緒に植えつけや収穫作業を行った。ワカメを使った料理レシピを家庭科の授業で考えた。

■7年生「地域防災を考えよう。～もしもに備えて、今わたしたちができることは～」

海に近く、校区の多くが津波浸水域になっているため、どのような準備をすれば、津波から命を守り、地震後の生活がスムーズにできるのかについてテーマごとに調べ、スライドにまとめた。避難経路・防災倉庫・備蓄品・避難所の運営などのテーマにして、グループで「地域のために自分たちに何ができるのだから」

うか」を考えていった。

■9 年生「卒業レポートを書こう」

9 年生は、今まで行ってきた静浦学習の総まとめとして卒業レポートを書いた。テーマ設定では、コロナの影響で沖縄の修学旅行に行けなかったため、これまでの総合的な学習の時間を通して、沼津・静浦について気になることは何が挙げられるかを考えていった。情報収集は、夏休みに行い、2 学期に情報の整理を行った。昨年度までの反省を元に概要をフローチャートにまとめ、中間発表をして、友達からの意見を元に、問いと答えの整合性があるかないかについて再考した。

中間発表後は、レポートの構成を理解した後、構成にしたがって書いていった。書いた後、学級内でプレゼン発表した。

(実施した活動全体の概要を記載してください)

活動中の写真

デジタルデータにて 2~3 枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)